

# 楷

第四十九号

岡山大学  
附属図書館報  
OKAYAMA UNIVERSITY  
LIBRARY BULLETIN

KAI

No.49

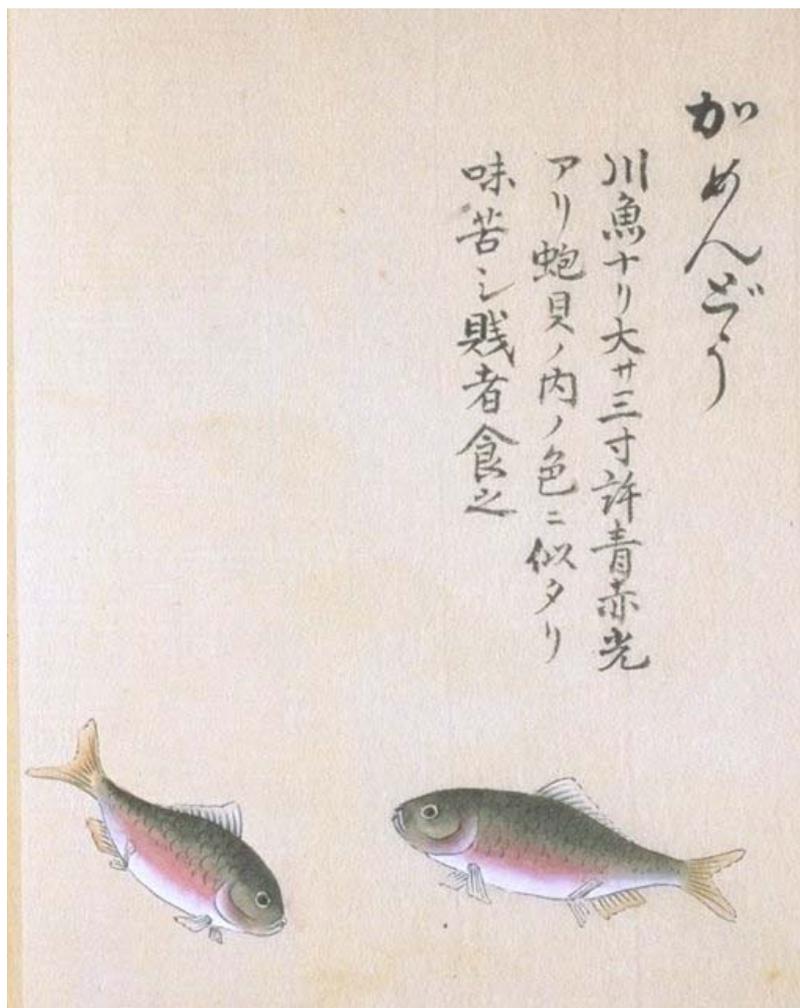
2009

OCTOBER

<写真>

かめんどう

川魚ナリ大サ三寸許青赤光  
アリ鮑貝ノ内ノ色ニ似タリ  
味苦シ賤者食之



「備前国備中国之内領内産物絵図帳」より（岡山大学附属図書館池田家文庫所蔵）

— 目 次 —

- 絵図を見る楽しみ（附属図書館館長 倉地克直）…………… p. 2
- Read Me! Book.5 「マンガのすすめ、特に「手塚治虫」  
その中でも「ブッダ（全14巻）」」（自然科学研究科 塚本真也教授）…………… p. 4
- データベース利用の勧め（レクシスネクシス・ジャパン株式会社 神山智子）… p. 5
- 平成21年度国立大学図書館協会賞を受賞（参考調査係 久磨由美子）…………… p. 6
- 「学習の場」としての図書館（鹿田分館図書係長 山田智美）…………… p. 7
- 医学基礎研修会に参加して：一般市民への医療情報サービス  
（鹿田分館図書係 中京子）…………… p. 8
- ご存知ですか（岡山大学附属図書館蔵書100万冊記念碑）（学術情報サービス課） p. 9
- マスカット …………… p. 10  
池田家文庫絵図展のお知らせ、データベース講習会開催のお知らせ、ほか
- 会議・研修・編集委員会から …………… p. 18

# 絵図を見る楽しみ

倉地克直

岡山大学附属図書館が所蔵する池田家文庫は、江戸時代に岡山地域を領地とした池田家に伝わった藩政資料です。そのなかには、約 3,000 点の絵図（古地図）が含まれています。これらについては、現在 8 割ほどをデジタル画像とし、附属図書館のホームページなどで公開しています。また、絵図の現本についても毎年秋に岡山市デジタルミュージアムと共催で「池田家文庫絵図展」を開き、広く市民に公開しています。

デジタル画像からは複製を作成することが比較的容易で、さまざまな利活用が可能です。そうした絵図を活用した社会貢献活動として、附属図書館では「子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」や公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう」を行っています。いずれも好評で、毎回多くの参加者があります。公開講座の成果を踏まえて、『絵図で歩く岡山城下町』という本も、図書館の編集で発行しました（吉備人出版）。

池田家文庫の絵図には、墨一色の B4 サイズほどのものから 5m 四方を超えるような巨大な極彩色の絵図まで、実に多様なものがあります。彩色も鮮明に残っているので、絵画として見ても十分に楽しめるものです。特に徳川幕府の指示で作られた備前国や備中国の国絵図などは、上質の紙や顔料を使い、丁寧かつ堅牢に仕上げられています。立派な美術品と言ってもよいようなものです。しかも、内容的にも当時の状況を知ることのできる情報が詰まっていて、まさに「才色兼備」の逸品です。

ところで、昔の絵図は現代の地図に比べて不正確だという意識をお持ちの方も多いかと思います。しかし、江戸時代にも測量技術はかなり発達していて、ランドサットの衛星画像にも劣らないような絵図がすでに 18 世紀の初めには作られていました。現代でも地上測量の地図は、衛星画像に基づくものと比べるとかなりの誤差があり、正確さというものは相対的だと言わざるをえません。逆に、目視に基づく図像のほうが、一見稚拙に見えながら、実は空間の特徴をよりの確にとらえている場合も少なくありません。

むしろ絵図の特徴は、それらが特定の目的のために作られた主題図だという点にあります。そのこともあって、絵図は制作者、これには制作を命じた人と実際に描いた絵師の両方を含みますが、その人たちの空間認識を色濃く反映しています。つまり、絵図を理解するためには、それが作られた目的や制作者について知らなければならないということであり、逆に言えば、それを知らなければその絵図を正しく理解することはできないということです。さらに言えば、その絵図が作られた目的や制作者を考えることで、絵図を見る楽しみがぐんと深まるということでもあります。

池田家文庫に「備前国図」という国絵図があります。この絵図は、慶長 9 年(1604)に徳川家康が全国の大名に作成を命じた慶長国絵図と関係の深いものだと考えられています。そのことの当否を含めてこの絵図には謎が多いのですが、そこに描かれた岡山城下町も、なかなか興味深いものです。その部分を掲げてみました。実に立派な城下町です。しかし、慶長期はもとよりのちにも岡山城下町がこのような姿になることはありませんでした。「そりゃ、所詮絵図なのだから、絵空事でしょう」と言ってしまうえば、それでおしまいです。そこから楽しみが深まることはありません。

もう一度よく見てみましょう。絵画的と言っても、リアルに描かれている部分も少なくないので

す。例えば、岡山城の天守台は四角四面ではなくて不定五角形なのですが、この絵図でも天守閣の下の層は五角形の屋根が描いてあります。上の二層の望楼も、三間四面の建物が現実通りに描かれています。また、旭川の西の部分では堀の形状がかなり正確です。内堀は三重になっていますし、天神山を囲むような中堀や外堀の凹凸なども現状に近いものです。つまり全体としてみれば、川西はそれなりに正確に描かれています。

実際と違っているのは旭川の東の部分です。特に家屋敷を取り囲む惣構えの堀は、ついに作られることはありませんでした。しかし、この惣構えの堀を作ろうとしたことはあったようで、最も古い岡山城下町を描いた「岡山古図」にもその痕跡を見ることができます。現在の相生橋の南の御成川にあたるものです。御成川は現地で見ても、堀のようだと感じられます。

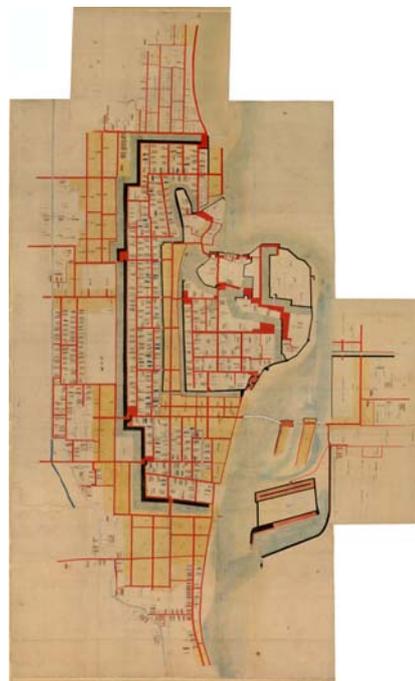
このようにみると、「備前国図」の岡山城下町は、現実を描いたというよりは、こうしたいという理想を描いたものだと考えられます。だから整っていて立派なのです。つまり、これは一種の設計図といってもいいでしょう。しかし、実際は計画通りに進まず、川東の堀は途中で終わり、むしろ川西の外堀の西側に武家地の拡大が進みます。そこには理想とは別の現実的な空間の力学が働いたのですが、それは次に改めて考えるべき問題です。

では、なぜ理想を描こうとしたのか。それはこの絵図の制作意図とどう関わるのか。設計図を部分的に書き込むような絵図はこの時代にはほかにもあるのだろうか。理想を描くことは幕府の意図とどう関係するのか。この絵図の城下町表現を「理想図」と考えることから、「問い」はどんどん広がります。

いずれにしても、絵図の表現を「所詮は絵空事」と切り捨てずに、その意味を考えてみると、そこからさまざまな「問い」が広がっていくのです。そんな目で一度絵図を眺めてみてください。みなさんなりの発見があって、きっと楽しくなるはずです。



■左画像…T1-5「備前国図」城下町



■右画像…T6-5「岡山古図」御成川

(くらち・かつなお 岡山大学附属図書館長)

## マンガのすすめ、特に「手塚治虫」 その中でも「ブッダ (全14巻)」 ~Read Me! Book.5~

塚 本 真 也

### ◆マンガのすすめ

大学教授は、マンガなど読まないと思われがちだが、わが家にはなんと1500冊のマンガ本があるのです。最近、この事実を知りました。というのは、各部屋に分散していた本を書斎にすべて集めると10架の書棚には入りきらず、一部を書棚の上に鎮座させる状態でやっと整理することができ、大学教授としては恥ずかしいことですが、専門書はわずか300冊足らずで、ほとんどは文庫本と単行本の小説。そして、驚くことに全蔵書の1/4ほどの1500冊がマンガだったのです。

マンガは理屈抜きで、いいですね。名作マンガの1冊は駄作小説の100冊に勝ります。

### ◆特に「手塚治虫」

マンガ文化の創始者＝手塚治虫を知らない学生はいないでしょう。生涯に300冊を超える作品を生み出しました。子供向けの「鉄腕アトム」や「ブラックジャック」はあまりにも有名ですが、手塚治虫の真骨頂は、次の3作品に結実しています。

「奇子」、「火の鳥」、そしてなんと言っても「ブッダ」ですね。

### ◆その中でも「ブッダ」

魂を揺さぶられる衝撃と感動を100回読めば100回得られるのが名作です。その中でも「ブッダ」は魂の万歩計ですね。「ブッダ」を読むと、読者の魂の到達点が今どこにあるのかを的確に指し示してくれます。それだけ奥義の真理と深い宗教性がこの作品には隠されているのです。

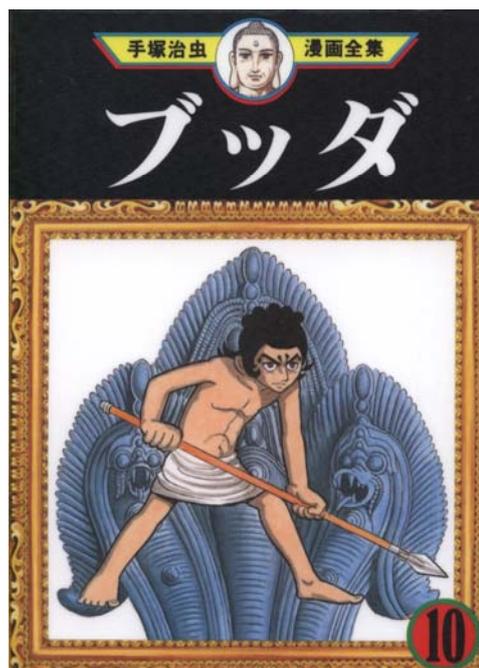
### ◆学生諸君への問題提議

二十歳のころ、「ブッダ」のテーマ＝「人間の生と死の目的」でどうしても理解できない点がありました。このたび、50歳を過ぎて読み返すとそれは当時の魂の状態がいかにか幼稚であったかを赤面するほど自覚できたのです。

学生諸君に次の問題を提議します。「ブッダ」を読んで、この問題の意味することを考えてみなさい。そのとき、あなたの魂の到達点が把握できます。

「飢餓状態の僧のために、ウサギが火の中に飛び込み、身を焼いて自分の体を差し出した」、これと同じように「僧が自分の肉体を差し出して、オオカミ家族を飢えから救い出した」。

(つかもと・しんや 自然科学研究科教授)



©手塚プロダクション

# データベース利用の勧め

神山 智子

学生の皆さんは調べ物をする際、どこから始めますか？やはりまずは google などの手軽な無料サイトでしょうか？私も電車の時間、冠婚葬祭のマナー、お天気など、まずはインターネットから探します。とりあえずたくさん情報は出てきて便利ですね。しかし、調べ物が授業の課題や学術資料だったらどうでしょう？自身の論文やレポートで引用する際、ページ番号を含めたその出典を記載しますが、無料サイトから十分調べられていますか？また、不慣れな分野であったりすると、その情報が信頼おけるものか判断に迷ったり、いざレポートを書く段階でリンクが切れていることありませんか？その点、大学で導入されている有償データベースは安心です。世界的に定評のある情報源のみで構成されており、全文での収録がほとんどで、さらに横断検索も可能ですので、一定のテーマに沿った調べ物を短時間で効率的に行うことができます。

LexisNexis のデータベースもそのような有償データベースの一つですが、岡山大学にフルタイムで所属されている方は、どなたでもご利用頂けます。LexisNexis をご存知の方は、海外法のデータベースという印象をお持ちかと思いますが、法律分野に限らず人文社会、ビジネス分野の研究にも日々利用されています。

- **語学**：英、仏、独、西、蘭、ポルトガル、デンマーク、フィンランド語での現地新聞、雑誌、TV 番組生原稿などを約 2 万媒体収録（時事英語、英会話の授業の教材として使われています。コーパス言語学でも利用価値があります）
- **地域研究**：90 ヶ国以上のニュース情報を多数収録。収録言語は 12 言語に及びます。現地英字新聞、米国世論調査結果、ローカルペーパー等の現地ニュース情報を、日本にいながら時差無く入手できます
- **国際関係・政治**：世界主要新聞、雑誌全文収録、TV、ラジオ、演説、米国公聴会トランスクリプト（世界情勢をくまなくチェック、各国有名誌を横断的に調べられます。発言内容の要約だけでなく、そのもの全文をテキストで入手可能）
- **経済・経営**：海外企業情報、財務諸表、SEC、M&A、市場調査レポート、Who's Who
- **法律**：海外判例、法令、規則、法案、議会・行政資料、ローレビュー
- **工学**：米国登録／公開特許、欧州特許、日本特許（英文抄録）、国際特許（PCT）  
収録範囲概要：<http://www.lexisnexis.jp/product/database.html>  
利用例・インタビュー：[http://www.lexisnexis.jp/interview/interview\\_lexis.htm](http://www.lexisnexis.jp/interview/interview_lexis.htm)
- 初めに講習会を受けた方々の感想：
  - －想像を超えるすごいサイトだった。英語や初修外国語のスキルアップにつなげていきたい。
  - －難しそうだと思っていたけど、意外とわかりやすかった。Google などで検索するよりも絞り込みが効果的にできる。レポートや資料集めに役立ちそう。
  - －あんな膨大な量から、目的に合うものをピンポイントで探せた。今日の授業にでてよかった。

毎年開催している講習会では、具体的な利用方法をご案内します。授業時間・内容に合わせた講習会も調整します。また、インターネットと電話を使った、オンライントレーニングも開始しました。気軽に受講頂けますので、どうぞ奮ってご利用下さい。それでは、次回の講習会に皆さんにご参加いただけます事を楽しみに致しております。

(かみやま・ともこ レクシスネクシス・ジャパン株式会社)

## 平成 21 年度国立大学図書館協会賞を受賞

久 磨 由 美 子

本学附属図書館の「岡山大学附属図書館所蔵貴重資料の教育普及プロジェクト～ワークショップ・まちあるき手法を取り入れた貴重資料活用事例～」が平成 21 年度国立大学図書館協会賞を受賞し、平成 21 年 6 月 19 日に新潟で開催されました国立大学図書館協会総会において表彰されました。

岡山大学附属図書館の貴重資料である「池田家文庫」には約 3,000 点の絵図があり、そのうち約 2,500 点がデジタル化され、これらの資料は展示や出版様々な形で利用されています。

最初は小・中学校の教材利用から始まったこの普及プロジェクトですが、現在の町や史跡を肌で触れながら、300 年前の絵図と比べて見るという体験型のイベントとして郷土の観光施設の後楽園内でのワークショップと、岡山市内での公開講座という形で拡大されています。

これらのイベントを通して感じたことは、今まで大学図書館職員は来館してくる学生・教職員・市民に対してサービスを行ってききましたが、町中で市民の方々と接するとまだまだ大学に対して理解をしていただけていないことも多く、様々な要望・苦情という形で返ってきました。

一方では、このような企画について非常に満足の言葉をいただくこともあります。厳しいご意見を反省点に、暖かい言葉を励みにして、今後も継続的に貴重資料の教育普及に努めていきたいと思っております。



【記念の賞状とメダル】

国立大学図書館協会賞は前身の国立大学図書館協議会時代から 44 回を数える伝統のある賞で、大学図書館活動および図書館・情報学研究において顕著な業績をあげた個人およびグループに対して贈られます。今回、岡山大学附属図書館のプロジェクト受賞理由は以下のとおりです。

- ・デジタル化した貴重資料を教育普及活動における教材として活用している
- ・活動の対象が地元の小中学生と公開講座の受講生であり、図書館の役割について地域社会での認識を深めた
- ・教育学部との連携、公開講座の開催を通して、図書館以外からの学内協力を得て大学の活動として行っており、その中においても図書館員が主体的な役割を担っている

(くま・ゆみこ 参考調査係員)

# 「学習の場」としての図書館

山田 智美

7月6日から7月17日まで「平成21年度大学図書館職員長期研修」(主催:筑波大学)に参加しました。この研修は、大学図書館等の中堅職員を対象に、学術情報に関する最新の知識、図書館経営・情報サービスの在り方についての再教育を行うことにより、大学図書館等の情報提供サービス体制を充実させることを目的に毎年行われているものです。

この研修でとりあげられた話題の中から、最近注目されている大学図書館の動きをいくつかご紹介したいと思います。

## ●進む非来館サービス

最近の図書館では、電子ジャーナル、Web版データベース、機関リポジトリ(※)といったインターネットを介した電子的資料の普及により、図書館に来館せずに、研究室にいながら必要な情報を入手できるようになってきています。

最近では、学外から大学が契約する電子ジャーナルやデータベースを利用できるようになっている大学もあり、統一認証の研究が進むなど、今後ますます便利になることが予想されます。

しかし、大学の規模や価格高騰など予算的な問題から、大学ごとに提供できるサービスに差が生じ、今後、より情報格差が広がるとの懸念もあります。

※ 機関リポジトリ:大学の研究成果、教育成果、特殊コレクションなどを電子媒体で蓄積・保存し、インターネットを利用して情報発信するデータベース。

## ●学習の場としての図書館

非来館サービスが進む一方、図書館の来館サービスとして大学図書館界で注目されているのが、「学習の場としての図書館」です。これは、従来のような静かに本を読む図書館ではなく、パソコンやプロジェクタを備え、机や椅子も可動式のものを設置して、グループ学習やプレゼンにも対応できるような空間を提供しようというものです。

さらに、ここに図書館職員や学生スタッフなどを配置し、人的なサポートを加えた空間を、ラーニング・コモンズと呼び、ここ数年取り入れる大学が急増しています。

## ●学習支援

ラーニング・コモンズに重要な要素となるのが学習支援です。これは、以前から図書館で行ってきた図書館利用案内やデータベース講習会のみでなく、従来の図書館サービスの枠組みを超えるICT(Information and Communication(s) Technology:情報通信技術)利用支援や、レポートや論文作成などのライティング支援など、学習全般における支援を行う、というものです。

これには、図書館職員の資質向上は当然のこととし、学生や教員との連携も必要になってきます。

岡山大学でも今春、中央図書館の耐震工事の際にグループ学習室を増やし、学習のための環境改善につとめています。一方、鹿田分館では、昨年度1階に統合した2階の旧事務室部分を含む2階ロビー付近のスペースの見直しが急務となっております。今後、特に学生の利用者を念頭においたスペースづくりやサービスを心がけていきたいと思っております。

(やまだ・ともみ 鹿田分館図書係長)

## 医学基礎研修会に参加して 一般市民への医療情報サービス

中京子

### はじめに

8月3～5日の3日間、医学図書館員基礎研修会（於 東北大学）に参加させていただきました。今年にはテーマのひとつとして「一般市民への医療情報提供を考える」が挙がっており、今年の4月から医・歯学系の図書館で働き始めたばかりの私にとって、このテーマで討議することはかなり身の縮む思いでしたが、良い経験もたくさん積ませていただきました。この研修会で経験豊富な方々・異なる館種の方々とお話をしていく中で見えてきた事を、以下にとつとつと書かせていただければと思います。

### 図書館員側の悩みと一般の方の意識

基礎研修会には、病院図書室や患者図書室、公共図書館、大学図書館等々、いろいろな館種の方が参加します。インフォームドコンセントなどで患者が医師の説明を理解するためにより詳しく医学情報を得ようとするが増えてきている中で、図書館や図書室も手探りで自分達の役割を果たそうと動き始めていることが伺えました。人手、予算をどこから持ってくるか、附属機関に所属している方へ対するサービスがおろそかにならないかなどの問題点を抱える中で、参加者が一番強く危惧していたのは「診療の妨げにならないだろうか」ということでした。実施館に話を伺うと、利用者が「治療中の病気のことを調べてほしい」と来る時、自分の受けている診療が正しいかどうかの判断を図書館員に求めてくるのが時折あり、対応が難しくなるとのことでした。図書館員がお渡しする情報は「医療の専門家」が提供する情報ではなく、治療法は状況によってさまざまあること、図書館で得た情報は、医師と深く会話をするためのもの、ということを利用者に理解していただくことが、医療情報を提供するうえで一番認識が広まっていかなければならないことだと感じました。

### 図書館、医療者とのネットワーク

研修で図書館員の方々が口々にされたことは、近くの医学図書館・病院患者図書室同士のネットワークの必要性でした。公共図書館、患者図書室、大学図書館が持っている資料の違いを活かし、お互いの不足を補い、料金相殺などの制度を組み入れて資料を利用者にサービスを滞りなく行き渡らせるために、協力をし合う体制を作っておくことが、これから求められてくるようです。

日々の業務に必死で慣れようとしてきた数か月でしたが、このような機会をいただけて、全国の医学図書館の状況を俯瞰してみることができたのは、勤めていくなかでとても有意義でした。2004年から認定資格「ヘルスサイエンス情報専門員」が図書館員の資格として登場しており、実務経験や研修で学びスキルアップを図るために、これらの資格取得を目指して、知識を増やしていきたいです。

附属図書館鹿田分館は現在一般向けの医学情報サービスは（入館して資料を見ることはできますが）積極的に行えていない状況です。本学では鹿田分館とは別に、病院患者支援センターが院内に患者図書室を立ち上げています。現在患者図書室と附属図書館鹿田分館との間に連携はなく、それぞれが独立してサービスを行っている状態で、どんな形になるのが岡山大学にとって、市民の方にとって、一番良いものなのか、考えさせられる3日間でした。

（なか・きょうこ 鹿田分館図書係員）

## ご存じですか (岡山大学附属図書館蔵書 100 万冊記念碑)

### 学術情報サービス課

岡山大学の附属図書館は中央図書館、鹿田分館、資源生物科学研究所分館の3館で構成されていますが、中央図書館の玄関前向かって右手（東側）に石碑が建っているのをご存じですか。今では一見すると単なる石が置いてあるように見えますが、正面には「附属図書館」、側面には「蔵書 1,000,000 冊突破記念」の文字が刻まれています。これは昭和54年（1979）2月26日（月）に岡山大学附属図書館全体の蔵書が100万冊を超えた記念に建てられた碑で、「附属図書館」は当時の小坂学長、「蔵書 1,000,000 冊突破記念」は片山図書館長の揮毫によるものです。昭和54年4月11日（水）には除幕式も執り行われました。

岡山大学は、昭和24年に新制大学として発足して今年で60年となりますが、旧制の岡山医科大学、第六高等学校、岡山師範学校、岡山青年師範学校、岡山農業専門学校の5つを母体に設立されており、附属図書館の蔵書もそれらのものを相当数引き継いでいます。

最初の蔵書は医学部の前身である明治3年4月に発足した岡山藩医学館当時に取得されたものが受入れ図書1号ではないかと推測されています。昭和25年当時の蔵書は全ての図書室を合わせて28万冊あまりでした。その頃は各学部に分室等があり、いわゆる本館では1,000冊しか所蔵していませんでしたが、順調に蔵書数は伸びていき、昭和36年度には50万冊を超え、昭和42年度65万5千冊、昭和50年度には89万3千冊となり、明治3年から109年を経て蔵書100万冊となりました。109年かかって100万冊となりましたが、その後、平成16年度には200万冊を突破しましたので、100万から200万になるには26年しかかかっていません。戦後から高度成長期を経て日本の経済状況がめまぐるしく変っていったなかで、附属図書館の蔵書も急激に伸びていき、平成20年度末は207万冊を持つ図書館となりました。

昭和46年に中央図書館の閲覧室、書庫が増築され、約7,400㎡の図書館となり、その当時は面積において西日本一と称され、平成9年には本館奥に新館が建ち16,000㎡の図書館となりましたが、それから10年余の現在は蔵書数の増加には対応できているとは言えず、閲覧書架や書庫は満杯状態となっていました。現在はどうやってこの狭隘化を解消していくかが急務となっていますが、昭和54年に100万冊に達したということは岡山大学附属図書館の歴史における一つの区切り点であったろうと思います。

ちなみに100万冊目は「本居宣長 / 小林秀雄著」（新潮社刊）です。この時に一緒に受入れた107冊は背ラベルに「100万記念」とスタンプされています。ほとんどが書庫にあるため、簡単には手にとれないかもしれませんが、何かの機会に目された時には附属図書館の歴史を感じていただければと思います。

参考文献：岡山大学30年史編纂委員会編

「岡山大学史（昭和44年～昭和54年）」岡山大学、1980

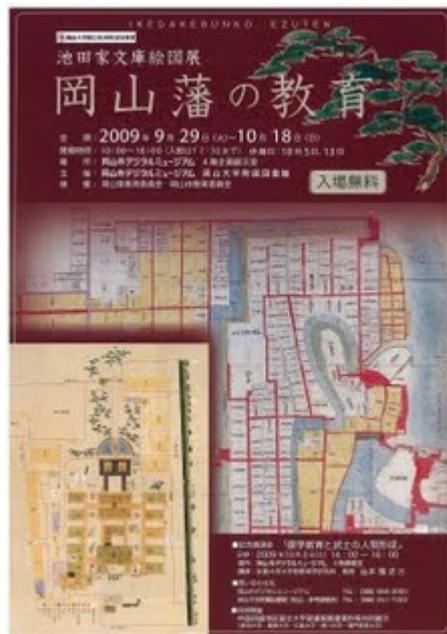


# マスカット

## 平成 21 年度 池田家文庫絵図展「岡山藩の教育」のお知らせ

岡山大学附属図書館と岡山市デジタルミュージアム主催による池田家文庫絵図展ならびに講演会を今年も開催しております。今年度のテーマは「岡山藩の教育」です。

岡山藩は全国でも早い江戸時代前期に、当時の藩主池田光政により、藩士の子弟のための学校や庶民の子弟教育の手習所・閑谷学校を設立しています。今回の展覧会では池田家文庫の資料の中から、藩学校、閑谷学校に関する資料や絵図類、また後の岡山大学医学部の前身である岡山医学館に関する資料などを紹介しております。入場料は無料ですので、ぜひご来場ください。



テーマ：池田家文庫絵図展 岡山藩の教育

-岡山大学 60 周年記念事業-

会 期：平成 21 年 9 月 29 日 (火) ～10 月 18 日 (日)

(休館日：10 月 5 日 (月)、13 日 (火))

開館時間：午前 10 時～午後 6 時

(入館は午後 5 時 30 分まで)

会 場：岡山市デジタルミュージアム 4 階展示室

入場料：無料

### ○記念講演 「儒学教育と武士の人間形成」

日 時：平成 21 年 10 月 3 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時

会 場：岡山市デジタルミュージアム 4 階講義室

講 師：辻本雅史先生 (京都大学大学院教育学研究科)

備 考：聴講無料、先着 80 名まで、予約不要

江戸時代には、全国に約 250 校を越える藩校がありましたが、全ての学校で儒学は教えられていました。岡山の藩学校や郷学の閑谷学校もそうでした。近世後期の武士教育は儒学でなされたのです。儒学は経書という中国古代の古典を読む学問でしたが、歴史的変革期の幕末の時代に、古典漢文を学ぶことにどのような意味があったのか、儒学学習の実態とその課程を紹介しながら、儒学による武士の人間形成の意味についてお話しさせていただきます。

また、今年度は中国四国地区国立大学図書館貴重資料等共同展示を同時開催中です。参加大学は島根大学・広島大学・香川大学・鳴門教育大学の 4 大学になり、各大学所蔵の貴重資料のパネル展示をしております。こちらは池田家文庫絵図展の会場内での同時展示になりますので、一緒にお楽しみいただければと思います。

**データベース講習会開催予定について（津島地区）**

中央図書館では以下の通、秋季データベース講習会の開催を予定しております。提供各社より講師を招いての講習会になりますので、ぜひこの機会にご参加ください。

講習会名	日時	講師
Science Direct 利用講習会	平成21年10月7日（水） 14:20～15:50	外部講師
Springer 電子ジャーナル利用講習会	平成21年11月5日（木） 14:20～15:50	外部講師
SciFinder データベース講習会	平成21年11月11日（水） 14:20～15:50	外部講師

会場：いずれも附属図書館中央図書館 新館1F AV 演習室

要申込：いずれかの方法で中央図書館・参考調査係（担当：川上）にお申し込みください。

メール：FBG7322@adm.okayama-u.ac.jp

電話：251-7322（内線 7322）平日 17時半までに

カウンター：平日 17時までに

※お名前・連絡先・受講希望データベース名・参加人数（グループで申し込み場合）をお伝えください。

**鹿田分館 平成21年度後期講習会のお知らせ**

鹿田分館では、後期も次のとおり各種講習会を予定しております。

電子ジャーナルや化学系データベースの講習会、またこれから論文を作成される方を対象に文献検索全般についての基礎的な説明を行う講習会なども予定しておりますので、文献の収集をお考えの方は是非ご参加ください。

参加をご希望の方はあらかじめ、お申し込みのうえご参加ください。

また、この他にもご希望がありましたら対応させていただきますので、鹿田分館までお知らせください。

ScienceDirect 10/7 18:00～19:30	【電子ジャーナル】海外大手出版社 Elsevier 社の電子ジャーナルシステムの説明。検索、アラート機能など便利な機能について。
PubMed 10/26 18:30～19:30	【海外生命科学系データベース】米国国立医学図書館（NLM）作成の生命科学分野では最大のデータベース。
医中誌 Web 10/30 18:30～19:30	【国内医学系データベース】国内医学全般（歯学、看護学含む）のデータベース。
SpringerLINK 11/5 18:00～19:30	【電子ジャーナル】海外大手出版社 Springer 社の電子ジャーナルシステムの説明。検索、アラート機能など便利な機能について。
SciFinder 11/11 18:00～19:30	【化学系データベース】Chemical Abstracts を中心とする化学全般のデータベースで、医薬・生化学・工学など幅広く収集している。
医学文献検索全般 1/18 18:30～19:30	【医学系文献検索の基礎について】歯学・看護学を含む医学系のデータベースにはどのようなものがあり、どのように利用するか。
CINAHL 1/22 18:30～19:30	【看護学データベース】海外の看護学、健康全般に関するデータベース。

会場：すべて鹿田分館3階情報実習室

要申込：いずれかの方法で鹿田分館にお申し込みください。

メール：fcg7053@adm.okayama-u.ac.jp（@は@に読みかえてください。）

電話：235-7053（内線 鹿田地区7053）平日17時半までに

カウンター：平日17時まで

### データベース講習会報告（中央図書館）

中央図書館では6月に以下の通りにデータベースの講習会をおこない、11名の方にご参加いただきました。

講習会名	実施日	時間	参加人数
Web of Science + Endnote	6月16日（火）	12:40～14:10 14:20～15:50	7名
Biological Abstracts + Ovid Medline	6月23日（火）	10:20～11:50	0名
Inspec	6月23日（火）	12:40～14:10	0名
Econlit	6月24日（水）	10:20～11:50	3名
PsycINFO	6月24日（水）	12:40～14:10	1名

### 鹿田分館 平成21年度前期講習会の報告

鹿田分館では、5月から7月にかけて8回講習会を行い、合計213名の方にご参加いただきました。空調の故障によりご迷惑をおかけしたこともありましたが、おおむね有益だったとの感想をいただいております。また、今年度は病院職員の方にもたくさんご参加いただきました。

データベース名	講師	対象	参加人数
メディカルオンライン 5/8	外部講師	保健学科4年生	80名
CINAHL 6/8	外部講師	教職員、学生	35名
PubMed 6/12	図書館職員	教職員、学生	32名
Web of Science + EndNote 6/16	外部講師	教職員、学生	29名
医中誌 Web 6/18	図書館職員	教職員、学生	8名
メディカルオンライン 6/22	図書館職員	教職員、学生	8名
EBM Reviews 6/23	外部講師	教職員、学生	11名
CINAHL 7/27	図書館職員	教職員、学生	10名

会場：すべて鹿田分館3階情報実習室

### オリエンテーション・ガイダンス実施報告（中央図書館）

本年4～5月に以下のとおり実施し、延べ1,347名の方にご参加いただきました。

<図書館オリエンテーション>

実施日：4月3日～5月27日 実施回数42回 参加人数：1,338人

内容：中央図書館利用方法・規則の概説、蔵書検索のデモ、館内ツアー

**<新任教員向け図書館オリエンテーション>**

実施日：4月1日、2日 実施回数：2回 参加人数：8人

内容：中央図書館利用方法・規則の概説、図書・雑誌等購入、WEBサービスなど

**<OPACの使い方>**

実施日：5月13日～27日 実施回数：1回（5回は中止） 参加人数：1人

内容：OPACの見方・使い方、参考文献リストの見方、雑誌論文の探し方

**オリエンテーション報告（鹿田分館）**

鹿田分館では、4月に各学科の新入生オリエンテーションの時間をお借りし、図書館オリエンテーションを行いました。内容は利用案内、時間外利用講習を主に、10分から20分程度の説明を行いました。また、大学院医歯薬学総合研究科博士課程の新入生対象として、基礎講義時間の半分をいただき、利用案内に加え、文献検索の基礎についても説明しました。

この他、大学病院で実習を行う順正高等専門学校の学生を対象に利用案内、館内ツアーを行いました。

合計489人の方にご参加いただきました。

**オリエンテーション・ガイダンス報告（資源生物科学研究所分館）**

資源生物科学研究所の新入生（4/13）対象にオリエンテーションを、農学部の新入生（4/27、5/11）対象に見学会を、それぞれ実施しました。内容は図書館の概説と利用案内です。館内案内および展示資料の説明をしました。約150名の方に参加いただきました。

**「メディカルオンライン」の導入報告**

医学系の和文電子ジャーナルパッケージ「メディカルオンライン」を平成21年4月から導入しました。全学で利用可能です。

「メディカルオンライン」とは、わが国の学会誌・学術専門誌（全718ジャーナル）を統合したもので、文献検索、アブストラクト閲覧及び文献を全文提供する医学・医療の総合サイトです。さらに、文献索引データベース「医中誌Web」の検索結果にPDFファイルがリンクしており文献が即入手できます。

キーワードなどからの検索だけでなく、医学（総合）14分野から、又は学会・出版社から関連文献も検索できます。

導入後の利用統計によると、1ヶ月におよそ3,000件のダウンロード、FAX送信の利用があります。

**資源生物科学研究所分館一般公開について**

本年も2009年5月16日（土）に資源生物科学研究所の一般公開が行われました。今回で8回目となりました。研究所で行われている研究内容を紹介するもので、過去最高の520の方が来所されました。図書館でも、ダーウィン自筆の献辞がある図書など貴重書の一部を展示し、また、クイズラリーの問題も展示物から出題されました。約300名の方が来館され、貴重図書の絵ハガキなどをプレゼントしました。

### 資源生物科学研究所分館企画展示について

資源生物科学研究所分館では、7月27日(月)～9月30日(水)に、企画展示「貴重書で見る江戸・明治の朝顔」を開催いたしました。所蔵している貴重図書に広く触れていただくため、今年度からさまざまな展示を企画していますが、第1回目として、夏の風物詩である朝顔に焦点を当てた展示を開催いたしました。内容は、江戸から明治にかけて競って品種改良され、ブームとなった変化朝顔について、貴重図書の現物展示と合わせて、色鮮やかで様々な形の変化朝顔の図版を写真パネルで紹介するものでした。

### 中央図書館図書資料貸出冊数の増加について

中央図書館で昨年10月より試行していた図書資料の貸出冊数の上限増加が正式運用となりました。

学部学生 5冊 → 10冊

大学院学生 5冊 → 15冊

学外利用者 2冊 → 5冊

このほか卒業年度に該当する学部学生及び大学院学生は上記貸出冊数とは別に20冊利用できる『中央図書館論文貸出』サービス(要申請)がありますので、中央図書館貸出カウンターにお尋ねください。

### 返却期限を過ぎた図書資料の連絡について

図書館では返却日を過ぎた資料の通知メールの送付を始めました。送り先は基盤センターで付与したメールアドレス(Gmail)または利用申請時に記載のあったメールアドレスです。返却日の翌日、その後返却されるまで2週間ごとに送信されます。返却が遅れると遅れた日数分図書の貸出ができなくなります。このお知らせメールにお心当たりがない場合は、資料を借りた図書館のカウンターにご連絡下さるよう、ご協力をお願いします。

### 中央図書館の防犯カメラの設置について

図書館を利用されるみなさまの安心・安全のため防犯カメラを設置しました。出入り口を始めとして館内に計7台設置し、7月15日より稼働を開始しました。同時に「岡山大学附属図書館防犯カメラ運用要領」を定め、これに基づいて運用しています。

### 中央図書館館内設備の新設について

昨年度1月より附属図書館中央図書館耐震強度強化のための改修工事を行い、無事4月上旬に完了しました。工事期間中は利用資料の移動や制限でご迷惑をおかけしましたが、5月より通常通りご利用いただけるようになりました。

耐震強度強化のための鉄骨が本館東閲覧室に設置されました。鉄骨への衝突回避のため安全柵が設けられたため、閲覧室及び書架の移動動線が大きく変わりご不便をおかけしていますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

少人数(5人程度)のグループで利用する学習室の要望が多かったため、今回の耐震工事を機会にグループ学習室を本館2階に2室設けました。本館3階にある5室の学習室(うち1室は10人まで利用可)とあわせてご利用いただけます。



閲覧室内に設置された安全柵



本館2階に増設された学習室

### 漢籍資料（湯淺氏蔵書）の寄贈受入について

平成21年2月に湯浅和夫氏より、祖父・湯浅廉孫 - 元三高教授（岡山県上道郡富山村宇海吉出身）及び父・湯浅幸孫-京大名誉教授の蔵書の一部を寄贈いただきました。ありがとうございました。

湯浅氏の蔵書は漢籍約900点、8,000冊におよび、その整理をされた池田秀三京大教授によると、「多くは清から民国初期に中国で刊行された資料で、稀覯本とは言えないものの善本も含まれており、また全般的に刷の良いものが多い」とのことです。

今後も引き続き受入を行い、湯浅文庫として整理・保存をしていきます。

### 国立大学図書館協会中国・四国地区協会事業委員会の活動について

国立大学図書館協会・中国四国地区協会は、中国四国地区の国立大学法人10大学の図書館施設を会員とする組織で、広く学術情報資源の相互利用の推進、学術情報流通基盤の発展に貢献し、各大学の使命達成に寄与することを目的としています。

去る9月1日には、本学を会場に同協会事業委員会の合同連絡会議が開催され、8大学から19名の参加を得て、職員の研修体制の充実、電子ジャーナル契約方法の改善、地域との連携など、図書館関係の各事業の推進について活発な意見交換が行われました。

同協会の活動内容については、以下のURLをご覧ください。

<http://simone.lib.okayama-u.ac.jp/>

### 岡山大学附属図書館 地域連携事業報告

#### ●平成21年度第1回目「池田家文庫 こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」報告

平成21年度第1回目（通算第6回目）の「池田家文庫 こども向け岡山後楽園発見ワークショップ」を平成21年7月11日（土）に開催いたしました。前日10日まで雨が続き、天候が心配されましたが、当日の岡山後楽園は晴れ上がり天候に恵まれました。今回は、岡山市内の小中学生29名と、そのご家族41名の合計70名の参加がありました。

ワークショップは、岡山大学教育学部の授業「総合演習D」受講の学生20名がスタッフとなり、率先してワークショップの内容検討、資料作成、当日の実践、後日の反省会などを行いました。当日、学生による紙芝居上演後、学生と参加者は8つの班に分かれ、カードに描かれた絵図の一部分をヒントにし、現在の後楽園の中を歩きました。「延養亭」や「唯心山」などのチェックポイントでは、学生から参加者の子どもたちに「そのポイントが江戸時代の昔にはどのように使われていたの

か、どのような意味をもっていたのか」についてお話がありました。参加してくれた子どもたちは、後樂園の中を歩きながら、後樂園を作った池田綱政というお殿さまが好んだ景色(借景)を見たり、後樂園が一望できる唯心山に登って後樂園の全景を眺めたりしながら楽しくすごしました。参加した記念に、後樂園の借景をバックに栄唱の間の前で記念撮影をした写真、チェックポイントで配布したカードやシールを修了証に貼ってお土産にしました。ワークショップの最後には、子どもたちにワークショップで歩いた場所と一番よかった場所について発表してもらい終了しました。

●岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう」実施報告

第一回「池田家文庫城下町絵図について」

日時：平成21年5月20日(土)12時30分から15時

場所：岡山県立図書館多目的ホール

講師：岡山大学社会文化科学研究科教授倉地克直先生

参加者：64名

城下絵図、国絵図をスクリーンに映しながらの講演後に、質疑応答が行われました。会場の壁には城下絵図などの複製が展示されていて、講演の前後に、聴講の方々は熱心にご覧になっていました。

第二回「絵図をもって岡山城を歩こう」

講師：岡山市教育委員会文化財課 文化財副主監 乗岡実氏

日時：平成21年6月6日(土)13時から15時

参加者：15名

岡山城の内下馬門を出発し、月見櫓までを丁寧な説明を受けながら進みました。最後には月見櫓を開放していただき中を見学しました。

## 教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

### 〈中央図書館〉※教員業績コーナー（本館1階）に配架

- 足立稔 [大学院教育学研究科]  
 「生」についての総合的研究：「生きる」ことに焦点をあてた学習の構築  
 ——岡山大学教育学部「生」についての総合的研究プロジェクト, 2003 (F375/S)
- 岡山大学出版会  
 知的な科学・技術文章の徹底演習 論文作成編 ——岡山大学出版会, 2009 (407/T)  
 揺らぎの中の日本文化：原像・怪異・日本美術 ——岡山大学出版会, 2009 (002/Y)
- 岡山大学法学部  
 金融法雑論 3 ——高橋総合法律事務所, 2004 (338.32/Y)
- 小川秀樹 [国際センター]  
 南ア新生の現場から (JETRO books:28) ——日本貿易振興会, 1994 (319.9/O)  
 ベルギーを知るための52章 (エリア・スタディーズ:71)  
 ——明石書店, 2009 (302.358/O)
- 宍戸昌彦, 大槻高史 [大学院自然科学研究科]  
 生物有機化学：ケミカルバイオロジーへの展開 (化学の指針シリーズ)  
 ——裳華房, 2008 (464/S)
- 高山芳治 [大学院教育学研究科 (受贈時)]  
 社会科学習書開発の研究：「森林と生活」の学習書 ——ふくろう出版, 2008 (375.3/T)
- 田中善正 [名誉教授]  
 聖書の植物 ——大学教育出版, 2009 (193/T)
- 藤鑑 [大学院社会文化科学研究科]  
 中日経済の相互依存：接続中日国際産業連関表の作成と応用  
 (岡山大学経済学研究叢書:第37冊) ——岡山大学経済学部, 2009 (331.19/T)  
 中日経済の相互依存：接続中日国際産業連関表の作成と応用  
 ——御茶の水書房, 2009 (331.19/T)
- 中谷ひとみ [大学院社会文化科学研究科]  
 現代アメリカ文学と仏教：西洋と東洋、宗教と文学を越境する  
 (岡山大学文学部研究叢書:28) ——岡山大学文学部, 2009 (939/N)
- 松田陽一 [大学院社会文化科学研究科]  
 経営者の事業観の伝承に関する事例研究  
 : 吉本興業・林正之助氏を対象とし、遺伝子の伝承メタファーに基づいて  
 (岡山大学経済学研究叢書:第38冊) ——岡山大学経済学部, 2009 (335.13/M)
- 山崎進, 笹倉万里子 [大学院自然科学研究科]  
 Objective knowledge and reasoning : lecture notes  
 ——Semantics and Artificial Intelligence Programming, Okayama University, 2009 (007.13/Y)
- 行安茂 [名誉教授]  
 道徳教育入門：その授業を中心として (共著) ——教育開発研究所, 2008 (375.35/D)

(敬称略五十音順)

## 会議

### ◆学外

- 21.4.16～17 第57回中国四国地区大学図書館協議会総会  
(於 島根)  
・経過報告、決算報告、監査報告、予算案、協議  
(中国四国地区大学図書館協議会ホームページの立ち上げについて等)
- 第36回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会  
・報告(活動概要等)、協議(協会活動状況の報告について等)、承合事項(図書・学術情報系事務組織について等)
- 5.14 平成21年度岡山県図書館協会第1回理事会  
・平成21年度定期総会提出予定案研について等
- 5.28 岡山県大学図書館協議会平成21年度第1回総会  
・事業報告、決算報告、監査報告、協議(事業計画、予算(案))等
- 6.19 第56回国立大学図書館協会総会(於 新潟)  
・一般経過報告、協議(決算・同監査報告、事業計画(案))、ワークショップ等
- 7.6～7 第80回日本医学図書館協会総会(於 埼玉)  
・事業報告・決算報告、その他
- 21.1.28 平成20年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会  
(於 広島大学)  
・平成20年度国立大学図書館協会中国四国地区事業委員会の活動報告について ほか

### ◆学内

- 21.2.24 平成20年度第4回附属図書館運営委員会  
5.7 平成21年度第1回附属図書館運営委員会
- 7.29 平成21年度第2回附属図書館運営委員会

## 研修

- 平成20年度岡山大学個人情報保護教育研修  
参加者 小花 洋一、大元 利彦、梶岡 貢(2.16)
- 遺跡資料リポジトリセミナー  
ー遺跡調査報告書電子化の新たな試み！ー  
参加者 小花 洋一、大元 利彦、竹下 啓行、大園 隼彦(2.26)
- 平成20年度図書館職員等研修講座(危機管理研修)  
参加者 久磨 由美子(2.26)
- 平成21年度漢籍整理長期研修  
参加者 大園 隼彦(6.15～9.4)
- 第5回国立大学図書館協会マネジメントセミナー  
参加者 臼井 克巳(6.20)
- 平成21年度大学図書館職員長期研修  
参加者 山田 智美(7.6～17)
- 第16回医学図書館員基礎研修  
参加者 中 京子(8.3～5)
- 平成21年度学術ポータル担当者研修  
参加者 中山 千佳子(8.5～7)
- 目録システム講習会<岡山大会会場>(図書コース)  
参加者 大園 隼彦、田中 智子(8.19～21)

## 編集委員会から

毎年卒業式当日に、岡山大学を新たに卒業する学業及び人物の優れた学生に授与している黒正賞は、岡山大学の創設にあたって多大な功績のあった黒正巖先生を記念するために設けられたもので、その黒正巖先生の銅像が中央図書館前のロータリー内に設置されています。

岡山大学創立60周年記念事業の一環として、平成21年度内にロータリー内が整備されるとのことで、図書館前の駐輪の問題もありますが、中央図書館の時計塔を背景にどのように様変わりするのか楽しみです。より多くの学生の皆さんと黒正先生との出会いの場所になればと願う次第です。

岡山大学附属図書館報「楷」 No.49 平成21年10月1日

発行人 小花洋一 編集 広報誌編集委員会

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市津島中三丁目1-1 電話 086-252-1111

ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>